

住友ゴム工業、タイ農業機械用タイヤ工場の開所式を実施



住友ゴム工業は、4月22日、農業機械用タイヤでは同社グループとして初の海外工場となる、スミトモラバータイランドの農業機械用タイヤ工場の開所式を、同工場敷地内(タイ国ラヨン県アマタシティ工業団地)で実施した。

開所式には、ラヨン県のウィチット知事をはじめとする行政関係者他、同社からは、池田育嗣代表取締役社長、スミトモラバータイランドの長畑社長など、総勢150名が出席した。

<タイ農業機械用タイヤ工場の概要>

事業内容：農業機械用タイヤ、ゴムクローラ、フォークリフト用ソリッドタイヤの製造・販売

総投資額：約40億バーツ(約130億円)

生産開始：2014年4月

生産能力：約800トン(50,000本)/月(2017年末)

敷地面積：約13万平方メートル

<スミトモラバータイランド概要>

会社名：スミトモラバータイランド株式会社

代表者名：長畑亨

所在地：タイ国ラヨン県アマタシティ工業団地

設立年月：2005年5月

事業内容：ラジアルタイヤの製造・販売